

令和2年度（2020年度）版 みんなと学ぶ 小学校国語 年間指導計画作成資料 【5年】

各ページとも、表形式で示している。上部に表組みの項目を置いてあるので、それによってご覧いただきたい。

■月…目安としての配当月を示した。（ ）内には、その月の合計時数を付している。

■単元・教材名、時数、指導目標

・単元・教材名…単元番号及び単元名・教材名を示した。

・時数…単元や教材のまとまりごとの時数を示した。

例：2時間（知技①書①）…知識及び技能1時間、書くこと1時間の配分を示す。

・指導目標…単元及び教材を通して育成したい資質・能力をまとめ、目標として示した。

※学習指導要領に示した指導事項についての表示方法は以下の通り。なお、重点指導事項には下線を付している。

〔知識及び技能〕

(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項

(2)…情報の扱い方に関する事項

(3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・表現力・判断力等〕

A…話すこと・聞くこと

B…書くこと

C…読むこと

■主な学習活動…単元及び教材の主たる学習活動を示した。傍らにある数字は、学習の順序を想定したものである。

■評価規準…学習活動に即した評価規準を以下の三つの観点で示した。指導事項の確実な育成を図るという観点から、文言については今後変更する可能性がある。

表示方法については以下の通り（言語活動例においても同様）。

【知識・技能】…「知識及び技能」の観点及び、学習指導要領や学習活動との対応

【思考・判断・表現】…「思考・判断・表現」の観点及び、学習指導要領や学習活動との対応

※冒頭には、例えば「読むことにおいて」など、領域名を明記している。

【主体的に学習に取り組む態度】…「学びに向かう力、人間性等」のうち、観点別評価を通じて見取ることができる部分である「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている側面や、自らの学習を調整しようとする側面を一体的に見取ることが想定されている。

本資料は、令和元年（2019年）9月10日版です。

単元ごとの目標、主な学習活動、評価規準などは、今後変更することがあります。予めご承知おきください。

年間指導計画案(5年上巻)

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
4月 (12)	今日からはじまる 1時間(読①) 教科書:5上pp.①～1 ◇吟味された言葉や表現の工夫に着目し、詩から受け取ったことをもとに、表現豊かに音読することができる。〈知技:(1)ク、エ、C:(1)エ〉	1 「今日からはじまる」を音読し、感想や表現の工夫について出し合う。 2 反復などの表現や、連ごとに描かれた世界を楽しむ、感じたことを踏まえて朗読する。 3 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・反復などの表現の工夫を捉え、受け取ったメッセージと結び付けながら、表現豊かに音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、情景を想像しながら読み、連ごとの世界観の違いと反復の表現とを関連させるなど、表現の効果を味わっている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・読んで感じたことをもとに、進んで朗読しようとしている。
	言葉でつながる しょうかいします、わたしの友達 2時間(話聞②) 教科書:5上pp.14～15 ◇友達に質問しながら、好きなことや得意なことなどの材料を集め、紹介スピーチを通して、親和的な関係を築くことができる。〈知技:(1)ア、A:(1)ア、イ、エ、(2)イ〉	1 学習課題と活動の進め方を確認する。 2 ペアになった友達と質問し合い、好きなことや得意なことを聞き出す。 3 聞き出したことをもとに、話す内容や構成を考え、友達を互いに紹介し合う。 4 スピーチを聞いて、感想を述べたりさらに聞きたいことを質問したりする。 5 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・相手とのつながりをつくる言葉の働きに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、友達に好きなことや得意なことについて、質問して材料を集め、紹介スピーチの内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容を捉え、共感したり納得したことをもとに、自分の考えをもっている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・言葉を通して友達と積極的に関わり、進んで話したり質問したりしようとしている。
	1 人物の関係を読もう みちくさ 4時間(読④) 教科書:5上pp.16～33 ◇人物の性格や心情の変化を、人物同士の関係や情景に着目して捉え、読み取ったことをもとに、工夫して音読することができる。〈知技:(1)ケ、(2)イ、C:(1)イ、オ、(2)イ〉	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 初発の感想を交流する。 3 人物関係図を作り、人物同士の関係を捉える。 4 人物の心情の変化とその要因をつかむ。 5 人物同士の関係性について、二人のやりとりや「ぼく」の心を暗示するこの動きなどの描写をもとに考える。 6 人物の心情について、自分に置きかえて考えをまとめる。 7 読んで理解したことをもとに、行動描写を中心に、表現豊かに音読する。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・人物の心情や性格が分かるように、工夫して音読している。 ・人物と人物との関係を図示して確かめている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、描写をもとに、人物同士の関係や心情の変化を捉え、自分の考えをまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・描写に着目して、進んで人物同士の関係を捉えようとしている。
	自分だけのノートを作ろう 1時間(書①) 教科書:5上pp.34～35 ◇学習の振り返りができるように、ノートの書き方を工夫することができる。〈知技:(1)ウ、B:(1)カ〉	1 ノート例から、分かったことを出し合う。 2 分かったことをもとに、工夫してノートに書く。	●知識・技能 ・漢字と仮名を適切に使い分けて、正しく書いている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、自分の考えや友達の考え、まとめなどを区別して書くなど、目的に合った適切な構成や書き表し方になっているかを確認、文章を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・考えを深めるためのノートの書き表し方を考え、進んでノートを書いている。
	季節のたより(春) 1時間(書①) 教科書:5上pp.36～37 ◇春の景色や様子を表す言葉、文語の語調に興味をもち、春を感じた瞬間を俳句にすることができる。〈知技:(3)ア、B:(1)カ、(2)イ〉	1 教科書の写真を見たり俳句を読んだりして、春の景色や様子を表す言葉、文語調の俳句について知る。(児童の実態に応じて、季節の唱歌等を紹介しても良い。) 2 春の景色を表す言葉を歳時記から探し、その言葉を使って、春を感じた瞬間を俳句にする。	●知識・技能 ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見付けている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、今までの学習を生かして、俳句を作ろうとしている。
	言葉のきまり 文の構造 1時間(知技①) 教科書:5上pp.38～39 ◇主語と述語との関係に着目して、文の構造を理解することができる。〈知技:(1)カ〉	1 教科書の例文を参考に、文には単文・重文・複文の三つの構造があることを確かめる。 2 p.39の課題に取り組み、友達と確かめ合う。	●知識・技能 ・文の中での語句の係り方や文の構造について理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで文の中での語句の係り方について理解し、今までの学習を生かして、文の構造を考えようとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
5月 (12)	言葉のいずみ1 和語・漢語・外来語 1時間(知技①) 教科書:5上pp.40～42 ◇和語・漢語・外来語の由来を知り、それぞれの違いや使った時の印象を確かめることができる。〈知技:(3)ウ〉	1 和語・漢語・外来語それぞれの特徴や由来などを知る。 2 それぞれの言葉の意味や感じ方の違いについて考えたり、身の回りから言葉を探して調べたりし、友達と交流する。 3 外来語を使った時の印象について、友達と出し合う。	●知識・技能 ・語句の由来などに関心を持ち、それぞれの特質を理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで和語・漢語・外来語の由来に興味を持ち、今までの学習を生かして、適切に使おうとしている。
	言葉をつないで文を作ろう1 1時間(書①) 教科書:5上p.43 ◇4年生までに配当されている漢字を使った文を書き、読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)エ、B:(1)エ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い、記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・4年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を生かして、文を作ろうとしている。
	調べよう まとめよう 「年鑑」を使って調べよう 2時間(知技①読①) 教科書:5上pp.44～45 ◇年鑑の使い方を知り、図表などから目的に応じて必要な情報を見つけ、情報と情報に関係付けて考えることができる。〈知技:(3)土、C:(1)ウ、(2)ウ〉	1 年鑑を使った調べ方を知る。 2 調べたことから情報を整理し、原因と結果など情報と情報とを関連付けて、比較・推論する。 3 学習の振り返りをし、他教科や生活場面など、どのようなときに年鑑を活用できるかを出し合う。	●知識・技能 ・年鑑で調べることの良さを知り、統計資料をもとに、情報と情報との関係に目を向けている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、目的に応じて資料から必要な情報を見つけ、それをもとに考えたことを伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで年鑑を使い、読み取ったことをもとに比較・推論しようとしている。
	2 要旨をとらえて読もう 東京スカイツリーのひみつ 5時間(読⑤) 教科書:5上pp.46～57 ◇文章全体から要旨を捉えるために、事例や図などに着目しながら、論の進め方や筆者の意見と事実との関係を押さえることができる。〈知技:(1)カ、(2)ア、イ、C:(1)エ、ウ〉	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 東京スカイツリーについて、知っていることや行った経験などを出し合う。 3 事実と筆者の意見を確かめ、全体のあらましをつかむ。 4 文章構成や論の進め方をつかむ。 5 要旨をまとめ、事実と意見との関係をつかむ。 6 筆者の意見や論の進め方について、考えを伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・文章構成と論の進め方を確かめている。 ・意味段落のつながりを図化して捉えたり、問題とその解決方法と筆者の意見とを、原因と結果の関係として押さえている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、事実と筆者の意見との関係から論の進め方や要旨を捉えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで要旨や筆者の論の進め方について考えようとしている。
6月 (14)	言葉をおくろう 手紙の書き方 3時間(書③) 教科書:5上pp.58～59 ◇あらたまった手紙を書くための形式を知り、全体の構成を考えながら手紙を書くことができる。〈知技:(1)ア、イ、キ、B:(1)イ、オ〉	1 あらたまった手紙を書くときの形式を確かめる。 2 手紙を出す相手に伝えたいことを考え、メモにまとめる。 3 メモをもとに形式に沿って、構成を考えながら手紙を書く。 4 書いた手紙を読み返し、構成や書き表し方に着目して、文章を整える。 5 手紙を出し、学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・相手とのつながりをつくる言葉の働きに気付いている。 ・話し言葉と書き言葉の違いに気付き、敬語を適切に使っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、読み手に分かりやすく伝えるように、構成を考えて手紙を書いている。 ・「書くこと」において、手紙の形式に沿った構成や書き表し方に着目し、文や文章を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・あらたまった手紙を書くときの形式を確かめ、進んで手紙を書こうとしている。
	3 インタビューをしよう 働く人にインタビュー 8時間(話聞⑧) 教科書:5上pp.60～63 ◇働くことについてインタビューをし、捉えた内容をもとに、自分の考えをまとめることができる。〈知技:(1)ア、キ、(2)イ、A:(1)エ、エ、(2)イ〉	1 グループでテーマを決めてインタビューし合い、聞き手と話し手のやりとりについての問題点を話し合う。 2 学習課題やめあてを確かめ、見通しをもつ。 3 話し手の考えや思いを引き出すような、話題や質問を考える。 4 友達を相手に、インタビューの練習をし、聞くための留意点を確かめる。 5 働いている人にインタビューをし、大事なことをメモする。 6 メモをもとにインタビューの内容を発表し合う。 7 発表について気が付いたことを伝え合う。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・言葉には相手との良好な関係を作る働きがあることに気付いている。 ・敬語の役割や必要性を理解し、適切に使っている。 ・質問して得た情報を書き留め、図化するなどしてそれらに関係付けている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、働くということを知るためにインタビューの内容を考え、集めた情報に関係付けて整理している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分が聞きたいことや話し手の考えに応じてインタビューをし、捉えた内容をもとに、自分の考えをまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・目的や意図に応じて進んでインタビューをし、自分の考えを広げようとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	言葉のいずみ2 複合語 1時間(知技①) 教科書:5上pp.64～65 ◇複合語について、その組み合わせ方や特徴を理解することができる。〈知技:(1)オ〉	1 教科書を読み、複合語のでき方や組み合わせ方を確かめる。 2 長い複合語や略語、発音や音の高さが変わる複合語について確かめる。 3 教科書や身の回りから複合語を探し、友達と出し合ったり辞書で調べたりする。	●知識・技能 ・語句の構成や変化について理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで語句の構成を理解し、今までの学習を生かして、複合語を適切に使用しようとしている。
	原因と結果の関係を見いだそう さまざまな情報を結び付けて考えよう 2時間(知技①話聞①) 教科書:5上pp.66～68 ◇原因と結果の関係を理解し、情報と情報の関係について考えを伝え合うことができる。〈知技:(2)エ、A:(1)オ〉	1 原因と結果との関係を知り、身近な生活から原因と結果の関係が成り立つものを出し合う。 2 図表とグラフの情報を結び付けて因果関係を考え、グラフ①～④に当てはまる商品とその理由を説明し合う。 3 身近な生活の中で起こっていることを出し合い、その原因となる事例(理由や根拠)を予想して挙げる。 4 説得力のある伝え方について考え、伝え合う。 5 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・情報から原因と結果の関係を見出し、結び付けてとらえている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、意図を明確にして話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・原因と結果の関係を進んで捉え、考えをまとめようとしている。
	言葉をつないで文を作ろう2 1時間(書①) 教科書:5上p.69 ◇4年生までに配当されている漢字を使った文を書き、読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)エ、B:(1)エ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い、記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・4年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を生かして、文を作ろうとしている。
	季節のたより(夏) 1時間(書①) 教科書:5上pp.70～71 ◇夏の景色や様子を表す言葉、文語の語調に興味をもち、夏を感じた瞬間を俳句にすることができる。〈知技:(3)エ、B:(1)カ、(2)イ〉	1 教科書の写真を見たり俳句を読んだりして、夏の景色や様子を表す言葉、文語調の俳句について知る。(児童の実態に応じて、季節の唱歌等を紹介しても良い。) 2 夏の景色を表す言葉を歳時記から探し、その言葉を使って、夏を感じた瞬間を俳句にする。	●知識・技能 ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見付けている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、今までの学習を生かして俳句を作ろうとしている。
	言葉のきまり2 敬語 1時間(知技①) 教科書:5上pp.72～73 ◇日常よく使われる敬語を理解し、状況や相手に合わせた使い方に慣れることができる。〈知技:(1)主〉	1 教科書の解説を読み、尊敬語・謙譲語・丁寧語について知る。 2 p.73の課題①・②に取り組み、考えたことを出し合う。 3 相手や場面を想定しながら、敬語を使った適切な表現で交流する。	●知識・技能 ・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで敬語の種類や働きを理解し、これまでの経験を生かして、適切に使用しようとしている。
	想像を広げよう 人物を生き生きとえがき出そう 8時間(書⑧) 教科書:5上pp.74～77 ◇文章から想像したことをもとに、人物像や場面の様子について表現を工夫し、脚本形式で書くことができる。〈知技:(1)カ、ケ、B:(1)ウ、力〉	1 学習のめあてや課題、進め方を確かめる。 2 「木竜うるし」を読み、脚本の特徴を捉える。 3 「ごんぎつね」の他の場面や、「みちくさ」から好きな場面を選び、行動や会話を想像しながら、ト書きやセリふを書き込む。 4 教科書の例を参考に、脚本を書く。 5 友達と朗読し合い、感想や表現の良いところを伝え合う。 6 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・脚本の特徴を理解するとともに、ト書きやセリふに注意しながら表現性を高めて朗読している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、場面の様子を想像して、状況に合ったト書きやセリふを考えながら表現を工夫して脚本を書いている。 ・「書くこと」において、書いた脚本の感想を伝え合い、自分の表現の良いところを見つけている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・場面の様子を想像しながら、脚本を進んで書こうとしている。
7月 (11)	漢字の広場1 1時間(知技①) 教科書:5上p.78 ◇5年生に配当されている漢字を読み書きし、文中の使い方を理解することができる。〈知技:(1)エ〉	1 傍線の言葉に注意して、教科書の例文を読む。 2 新出漢字の意味を確かめ、書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。	●知識・技能 ・5年生に配当されている漢字を読み書きし、文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで5年生に配当されている漢字を読み、今までの学習を生かして、文の中で使おうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	読書に親しもう 物語の人物が答えます 注文の多い料理店 読書の部屋 4時間(知技②読②) 教科書: 5上pp.79～99 ◇表現の効果を味わいながら、物語の全体像や人物像を想像して読み、感想を共有することで、読むことの楽しさを実感することができる。〈知技: (3) 土, C: (1) エ, オ, カ, (2) イ〉	1 活動の見通しをもち、全文を読む。 2 読書ゲームの手順を理解し、準備する。 3 それぞれの役割に応じて、質問したり答えたりする。 4 作品の感想や、ほかにも気付いたことなどを伝え合う。 5 学習の振り返りをし、似た展開のお話や興味をもった作品を読む。 6 読んだ本の読書記録をまとめ、今後の読書に広げる。	●知識・技能 ・読書に親しみ、読むことの楽しさや良さを実感している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、人物像や物語の全体像を想像して読むとともに、表現の効果(ユーモアや暗示性の高いメッセージ)を捉えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・読書の楽しさや良さを知ること、日常的な読書生活につなげようとしている。
9月 (12)	詩を味わおう レモン し 2時間(読②) 教科書: 5上pp.100～103 ◇表現の工夫を味わって想像したり、作者の思いを感じ取ったりしながら詩を読み、感想を伝え合うことで考えを広げることができる。〈知技: (1) ク, ケ, C: (1) エ, カ, (2) イ〉	1 「レモン」の表現の工夫や、作者のものの見方について出し合い、感じたことをもとに音読する。 2 「し」の表現の工夫や作者の思いについて出し合い、感じたことをもとに音読する。 3 分かったことや感じたことを伝え合い、学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・反復や体言止めなどの表現の工夫に気付き、感じたことをもとに表現豊かに音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、情景を想像したり表現の効果を考えたりしながら、作者のものの見方や思いを受け取り、自分の考えを伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・詩の世界や作者の思いを捉え、進んで詩を味わおうとしている。
	漢字の広場2 1時間(知技①) 教科書: 5上p.104 ◇5年生に担当されている漢字を読み書きし、文中の使い方を理解することができる。〈知技: (1) エ〉	1 傍線の言葉に注意して、教科書の例文を読む。 2 新出漢字の意味を確かめ、書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。	●知識・技能 ・5年生に担当されている漢字を読み書きし、文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで5年生に担当されている漢字を読み、今までの学習を生かして、文の中で使おうとしている。
	言葉をつないで文を作ろう3 1時間(書①) 教科書: 5上p.105 ◇4年生までに担当されている漢字を使った文を書き、読み返して文を整えることができる。〈知技: (1) 工, B: (1) エ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い、記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・4年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を生かして、文を作ろうとしている。
	4 自分の意見をもって読もう わたしたちとメディア インターネット・コミュニケーション 5時間(読⑤) 教科書: 5上pp.106～119 ◇筆者の意見とそれを支える事例、論の進め方を捉え、メディアとの関わりについて、自分の考えを広げることができる。〈<u>わたしたちとメディア</u> 知技: (1) ア, カ, C: (1) ア, ウ, オ, カ, (2) ア <u>インターネット・コミュニケーション</u> 知技: (1) ア, C: (1) カ, (2) ア〉	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 普段関わっているメディアについて、知っていることを出し合う。 3 「はじめ」と「終わり」のまとまりを確かめ、話題と筆者の意見とを捉える。 4 意見を支えるための事例について、観点をもとに整理する。 5 筆者の意見に対する自分の考えを伝え合う。 6 身の回りから、メディアとの関わりについて考える。 7 メールとSNSの視点で、情報との関わりについて考える。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・相手とのつながりを作る言葉の働きに気付いている。 ・尾括型の文章構成や、論を進めるための文と文との接続の関係を捉えている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、叙述をもとに、筆者の意見と事実との関係を押さえ、説得力を高めるための論の進め方について考えている。 ・「読むこと」において、読んで理解したこと、文章を重ねて読んで新たに気付いたことなどをもとに、自分の考えをまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・筆者の意見と事実との関係から、説得力について考え、日常の情報との関わりについて進んで自分の考えを広げようとしている。
	言葉の文化を体験しよう 宇治拾遺物語 3時間(知技③) 教科書: 5上pp.120～125 ◇古文や解説文などを読み、言葉の響きやリズムを味わったり、昔の人のものの見方や感じ方に関心をもったりすることができる。〈知技: (3) ア, イ〉	1 小野篁の話の原文を繰り返し音読し、現代語訳から、内容の大体をつかむ。 2 「古文の世界にふれる」を読み、昔の人のものの見方や感じ方について、現代の自分たちと比べて考える。 3 「雀報恩の事」の原文を繰り返し音読し、現代語訳をもとに、「舌切りすずめ」との内容の違いについて交流する。 4 宇治拾遺物語や今昔物語の現代語訳、また、それらを底本にした絵本などから好きな作品を選び、読んで紹介し合う。	●知識・技能 ・古文を音読し、言葉の響きやリズムを味わっている。 ・現代語訳や解説文を通して、作品の内容の大体を知り、昔の人のものの見方や感じ方について考えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・古文や解説文などを通して、言葉の響きやリズムに親しみ、進んで昔の人のものの見方や感じ方に関心をもとうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
10月 (4)	言葉を受け止めよう 親しみを表現しよう 2時間(話聞②) 教科書:5上pp.126～127 ◇互いの考えを明らかにして話し合い, より良い人間関係の築き方について考えを広げることができる。〈知技:(1)ア, A:(1)エ, 才〉	1 学習課題と活動の進め方を確認する。 2 学校生活の中で友達と親しみを感じ合える場面を書き出す。 3 グループ内で発表し, 気付いたことや感じたことを出し合う。 4 より良い人間関係をつくるためのやりとりについて, 自分の考えをまとめて話し合う。 5 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・相手とのつながりをつくる言葉の働きに気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において, 話し手の考えと比べながら聞き, 自分の考えをまとめている。 ・「話すこと・聞くこと」において, 互いの立場や意図を明確にしながらかし合い, 考えや思いを深めている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・言葉を通して積極的に友達と関わり, 思いや考えを広げようとしている。
	言葉のいずみ3 方言と共通語 2時間(知技②) 教科書:5上pp.128～130 ◇方言と共通語の違いを理解することができる。〈知技:(3)ウ〉	1 教科書の解説を読み, 方言と共通語について知る。 2 方言のアクセントの違いや, 方言の広がり方について確かめる。 3 方言と共通語の特徴や, それぞれの良さを確かめる。 4 p.130の課題に取り組み, 土地ごとの言い方の違いを調べて, 発表し合う。	●知識・技能 ・方言と共通語との違いを理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで方言と共通語の違いを理解し, これまでの学習や経験を生かして, 適切に使うとしている。

年間指導計画案(5年下巻)

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
10月 (11)	紙風船 1時間(書①) 教科書:5下pp.①～1 ◇吟味された言葉や表現の工夫に着目して、詩に描かれた作者のメッセージを受け取り、感じたことが伝わるよう、表現豊かに音読することができる。〈知技:(1)ク、エ、C:(1)エ〉	1 「紙風船」を音読し、感想や表現の工夫について出し合う。 2 比喩や倒置、繰り返しなどの表現と、描かれた詩の世界を結び付けて想像し、自分と重ねて感じたことをふまえて朗読する。 3 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・比喩などの表現の工夫を捉え、作品から受け取ったイメージを、表現豊かに音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、全体像を想像しながら読むとともに、メッセージの込められた反復や比喩表現などの効果を考えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・読んで感じたことをもとに、進んで朗読しようとしている。
	言葉から想像しよう 「入れかえ文」を作って楽しもう 2時間(知技①話聞①) 教科書:5下pp.6～8 ◇入れかえ文の意味が分かるように、想像を広げて補うことができる。〈知技:(1)オ、カ、A:(1)エ〉	1 p.6を見て、仮定の副詞「もし」を用いた条件表現の複文を理解する。 2 作った複文のカードをペアの友達と入れかえ、論理のつながりについて想像したことをメモに書き留める。 3 入れかえ文を提示し、補った考えを発表したりアイデアを出し合ったりする。 4 p.8の吹き出しを参考に複文を作り、入れかえ文と、それに対して補った考えを出し合う。 5 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・文末表現「だろう」や「もし～なら」を使った文など、思考に関わる語句を理解している。 ・文中の語句の係り方について理解している。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の考えと比較して、自分の考えや発想についてまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・入れかえ文の論理のつながりをイメージで補い、進んで説明しようとしている。
	1 報道文を読み、考えを深めよう 新聞の情報を読み取ろう 5時間(読⑤) 教科書:5下pp.9～15 ◇新聞記事と図表・写真とを関連させながら読み比べ、書き手の意図を捉えたり、新聞を活用して自分の考えを広げたりすることができる。〈知技:(1)カ、C:(1)ウ、オ、(2)ア、ウ〉	1 新聞を読んだ経験や、知っていることなどを出し合う。 2 めあてを確かめ、新聞の特徴をつかむ。 3 新聞の構成や読むポイントを確認する。 4 記事と図表・写真とを関連付けながら新聞記事を読み比べ、それぞれの違いや書き手の意図を捉える。 5 新聞などから関心をもったことを調べる。 6 記事をもとに、スクラップシートにまとめる。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・新聞記事のつくりと報道文の特徴をつかんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、文章と図表・写真とを結び付けて読み、書き手の意図を捉えている。 ・「読むこと」において、新聞記事から関心をもったことを調べたり、スクラップ記事にしたりすることで、自分の考えをまとめ、発表している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで新聞の意図を捉えて、自分の考えをもとにしようとしている。
	季節のたより(秋) 1時間(書①) 教科書:5下pp.16～17 ◇秋の景色や様子を表す言葉、文語の語調に興味をもち、秋を感じた瞬間を俳句にすることができる。〈知技:(3)エ、B:(1)カ、(2)イ〉	1 教科書の写真を見たり俳句読んだりして、秋の景色や様子を表す言葉、文語調の俳句について知る。(児童の実態に応じて、季節の唱歌等を紹介しても良い。) 2 秋の景色を表す言葉を歳時記から探し、その言葉を使って、秋を感じた瞬間を俳句にする。	●知識・技能 ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見付けている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、今までの学習を生かして、俳句を作ろうとしている。
	文章の書き方・まとめ方 文章の構成を知ろう 2時間(書②) 教科書:5下pp.18～19 ◇身近な話題に対する自分の考えが読み手に分かりやすく伝わるように、構成や展開を考えて意見文を書くことができる。〈知技:(1)カ、B:(1)エ、カ〉	1 例示された三つの文章を読み比べ、考えを支える理由や根拠(事例)、筆者の意見がどのように構成されているか、読み手に考えが明確に伝わるのはどれかなど、気付いたことを出し合う。 2 それぞれの文章の特徴を捉え、三つの型(頭括型・尾括型・双括型)のどれに当てはまるか、考えを出し合う。 3 身近な話題から、述べたい考えや意見を決める。 4 自分の意見を支えるための理由や、事例となる出来事や根拠を考え、ノートに書き出す。 5 三つの型のいずれかから、自分の意見を伝えるために適している型を選び、文章全体の構成や展開を考えながら意見文を書く。 6 主張を最初に提示することで読み手に伝わりやすくなるか、また、身近な話題から入り、読み手に共感させてから主張する方が伝わりやすくなるのかなど、文章構成による説得力の違いについて感想を伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・文章構成の型による論の進め方の違いを確かめている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、自分の意見が読み手に伝わりやすく、説得力をもつような、構成と論の展開を考え、文章を書いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・自分の意見を読み手に伝えるための、文章構成や論の展開を進んで考えようとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
11月 (16)	2 意見文を書こう どう考える? この投書 8時間(書⑧) 教科書: 5下pp.20~25 ◇自分の意見が読み手に明確に伝わるよう, 構成や書き表し方を工夫して書くことができる。〈知技: (1)カ, B: (1)イ, ウ, オ, カ (2)ア〉	1 学習課題とめあてを確かめ, 見通しをもつ。 2 例示された二つの投書を読み, 書き手の意図が分かることや納得するところに線を引いたり, 文章全体を要約したりする。 3 投書の書き手の意図を捉え, 読んで納得したことを, 理由とともに話し合う。 4 投書に対する自分の意見や, それを支える理由や根拠となる出来事などを付箋に書き, 構成表に貼って整理する。 5 構成表をもとに論の展開を考え, 意見文を書く。 6 書いた文章を推敲する。 7 友達と読み合い, 感想や説得の工夫について伝え合う。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・意見文の文章構成や論の進め方を理解している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 自分の意見が読み手に明確に伝わるように, 全体の構成を考えている。 ・「書くこと」において, 事実と感想, 意見とを区別して書くなど, 意見に説得力をもたせるために書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において, 文章全体の構成や, 書き表し方に着目して文章を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・自分の意見に説得力をもたせるため, 文章構成や書き表し方を工夫し, 進んで意見文を書こうとしている。
	3 自分の考えを提案しよう 学校を百倍すてきにしよう 6時間(話聞⑥) 教科書: 5下pp.26~31 ◇提案内容が聞き手によく伝わるよう, 話の内容や構成を考え, 工夫して話すことができる。〈知技: (1)イ, キ, (2)イ, A: (1)エ, イ, ウ, (2)ア〉	1 学習課題とめあてを確かめ, 見通しをもつ。 2 イメージマップを使って, 学校を百倍すてきにするためのアイデアを広げる。 3 イメージマップの中から, 良いと思うアイデアを選び, その理由を書き出す。 4 モデルのメモを参考に, 内容や話す順序を考え, スピーチメモを作る。 5 発表会を開いてスピーチを行い, 質問したり感想を伝え合ったりする。 6 内容と発表の仕方などについて, 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・話し言葉の即時性を理解し, 聞き手や場面の状況による話し方の違いに気付いている。 ・敬語を意識して使っている。 ・イメージマップの使い方を理解し, アイデアを広げている。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において, 目的に応じて話の内容や理由, 構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において, 自分の提案を原稿用紙に書くなどして, 自分の考えが伝わるよう, 工夫して話している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・学校をより良くするためのアイデアを考え, 自分の提案内容が相手に伝わるように, 進んで話そうとしている。
	漢字の広場1 1時間(知技①) 教科書: 5下p.32 ◇5年生に配当されている漢字を読み書きし, 文中の使い方を理解することができる。〈知技: (1)エ〉	1 傍線の言葉に注意して, 教科書の例文を読む。 2 新出漢字の意味を確かめ, 書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。	●知識・技能 ・5年生に配当されている漢字を読み書きし, 文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで5年生に配当されている漢字を読み, 今までの学習を生かして, 文の中で使おうとしている。
	言葉をつないで文を作ろう1 1時間(書①) 教科書: 5下p.33 ◇4年生までに配当されている漢字を使った文を書き, 読み返して文を整えることができる。〈知技: (1)エ, B: (1)オ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し, 説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い, 課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い, 記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・4年生までに学んだ漢字を正しく使って, 文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 作った文を読み返して文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い, 今までの学習を生かして, 文を作ろうとしている。
12月 (12)	4 生き方を読もう 勇気の花がひらくときーやなせ たかしとアンパンマンの物語ー 4時間(読④) 教科書: 5下pp.34~47 ◇描かれている人物像や生き方, 作品に込めた作者の思いを読み, 自分のこれからの生き方を考えることができる。〈知技: (1)カ, ケ, C: (1)エ, オ, カ, (2)イ〉	1 全文を読み, めあてを確かめる。 2 初発の感想を交流する。 3 本文をもとに出来事とその時人物が考えたことを表にまとめ, 人物像を捉える。 4 作品に込められた思いを被伝者の人物像と関連させて捉える。 5 題名を手がかりに, 作品の全体像を捉える。 6 自分と重ね合わせて, 自分の生き方について考え, 考えたことや感想を共有する。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・伝記の特徴を知るとともに, 読んで考えたことが伝わるように音読している。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 被伝者の人物像と作品に込められた思いを捉え, 自分の経験と重ねて読んでいる。 ・「読むこと」において, 読み取った人物の生き方からこれからの自分について考えをまとめ, 感想を伝え合っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・伝記を読み, 進んで自分の生き方を考えようとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	豊かに表現しよう 俳句・短歌を作ろう 6時間(書⑥) 教科書:5下pp.48～51 ◇身の回りから見つけたことをもとに、言葉を吟味して俳句や短歌を作り、表現の工夫による効果を確認することができる。〈知技:(1)オ、ク、B:(1)エ、カ、(2)イ〉	1 学習課題と手順を確認める。 2 俳句の音数や季語について知る。 3 教科書p.49の作品例の空欄に言葉を当てはめ、思い浮かべた情景について話し合う。 4 短歌の特徴や音数を知り、リズムを確認めたり、情景を思い浮かべたりする。 5 教科書p.51の作品例の空欄に当てはまる言葉を考え、話し合う。 6 生活の中で気付いたことや驚いたことなどを思い出し、短い文章に書き留める。 7 書いた短い文章をもとに言葉を組み合わせ、音数に気を付けて、俳句や短歌を作る。 8 友達と読み合い、表現を工夫したところを説明したり、感想や良いところを伝え合ったりする。 9 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、俳句や短歌を作っている。 ・比喩や倒置、体言止めなどの技法を理解している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、身の回りから俳句や短歌で表現したい題材を集め、言葉と言葉とを関係付けて書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、作品を読み合い、表現の仕方に着目して感想を伝え合ったり、自分の作品の良さを見つけたりしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・普段の生活の中で見つけたことを、言葉のリズムを意識しながら、進んで俳句や短歌で表現しようとしている。
	言葉のきまり1 動作の状態や意味をくわしくする言葉 1時間(知技①) 教科書:5下pp.52～53 ◇陳述(呼応)の副詞や補助動詞について、語句と語句との関係を理解し、適切に使うことができる。〈知技:(1)カ〉	1 p.52の例文をもとに、陳述(呼応)の副詞について知る。 2 課題に取り組み、適切な語句を入れたり、陳述(呼応)の副詞を使った文を作ったりする。 3 p.53の例文を比べ、気付いたことを出し合い、補助動詞の働きを確認める。	●知識・技能 ・文の中での語句の係り方について理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで陳述(呼応)の副詞や補助動詞について理解し、今までの学習を生かして、適切に使うようとしている。
	読書を広げよう なぜ本を読むのか 読書の部屋 1時間(知技①) 教科書:5下pp.54～57 ◇読書の楽しさや有効性を知り、日常的に読書に親しむことができる。〈知技:(3)オ〉	1 教科書本文を読み、本を読む意義について考える。 2 今まで読んだ中で、印象に残っている本を書き出す。 3 本を読んで考えが広がったことや、楽しさを実感したことなどを振り返り、発表する。 4 読書の部屋を見て、多様なものの見方や考え方にふれ、読書の良さに気付く。	●知識・技能 ・読書が自分の考えを広げるのに役立つことに気付いている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで読書の意義について考え、読書に親しもうとしている。
1月 (13)	季節のたより(冬) 1時間(書①) 教科書:5下pp.58～59 ◇冬の景色や様子を表す言葉、文語の語調に興味をもち、冬を感じた瞬間を俳句にすることができる。〈知技:(3)エ、B:(1)カ、(2)イ〉	1 教科書の写真を見たり俳句を読んだりして、冬の景色や様子を表す言葉、文語調の俳句について知る。(児童の実態に応じて、季節の唱歌等を紹介しても良い。) 2 冬の景色を表す言葉を歳時記から探し、その言葉を使って、冬を感じた瞬間を俳句にする。	●知識・技能 ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見付けている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、今までの学習を生かして俳句を作ろうとしている。
	5 論の進め方に着目して読もう 「一本」から見える数え方の世界 4時間(読④) 教科書:5下pp.60～69 ◇筆者の疑問から結論にいたるまでの論の進め方を、調査と考察の関係から捉えることができる。〈知技:(1)オ、カ、(2)イ、C:(1)ア、ウ、オ〉	1 全文を読み、めあてを確認める。 2 知っている助数詞を、ものの形状と関連させながら出し合う。 3 筆者の疑問から結論にいたるまでの過程を考え、文章構成を捉える。 4 二つの疑問に対する事例を整理する。 5 挿絵と文章を関連させて読み、挿絵の効果を考える。 6 筆者の論の進め方や言葉に対する感覚について、考えを伝え合う。 7 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・言葉の使い方の感覚について意識したり、尾括型の文章構成や図示による情報と情報との関係について捉えたりしている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、調査内容と筆者の意見(推論)の関係から、文章全体をつかんでいる。 ・「読むこと」において、事例の用い方や挿絵の効果を考えながら、筆者の論の進め方を捉え、自分の考えをまとめている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・筆者の思考過程を追いながら、進んで調査と推論との関係をつかもうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
2月 (15)	調べて書こう 言葉について調べよう 10時間(書⑩) 教科書:5下pp.70～75 ◇言葉について調べて分かったことを整理し, 資料から引用したり, 図表やグラフなどを用いたりしながら, 伝えたいことが明確なレポートを作ることができる。〈知技:(1)オ, カ, B:(1)エ, エ〉	1 学習課題と進め方を確かめる。 2 言葉について疑問に思っていることを出し合い, 調べるテーマを決める。 3 複数の中から適切な調べ方を決め, 決めたテーマについて詳しく調べる。 4 調べて分かったことを, 分類したり関係付けたりして整理し, 図表やグラフで表すものを考える。 5 研究の動機や調べて分かったことなど, 観点に沿って構成表にまとめる。 6 作成した資料や構成表をもとに, レポートをまとめる。 7 作ったレポートを友達と読み合い, 構成や資料の用い方など感想を伝え合う。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・言葉について正しさや使用場面における適切さを考えながら調べ, 語感を豊かにしている。 ・レポートの書き方や構成を理解している。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 言葉について疑問に思うことから調べることを選び, 調べて分かったことを整理して, 伝えたいことを明らかにしている。 ・「書くこと」において, 資料から引用したり, 調べたことを図表やグラフなどで示したりするなどして, 自分の考えがよく伝わるように, 書き表し方を工夫している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・言葉について調べて分かったことを, 引用したり図表やグラフなどを効果的に使ったりして, レポートにまとめようとしている。
	対話して読む: 物語の読み方を広げよう ゆず 2時間(読②) 教科書:5下pp.76～80 ◇つぶやくように対話して読んだり, 描写をもとに書かれていない部分を想像で補って読んだりすることで, 作品の読み方を広げることができる。〈知技:(1)オ, ク, C:(1)イ, エ〉	1 本文を読み, 「基本的な手がかり」を確かめる。 2 「つぶやく」を参考にし, 対話するように問いをもちながら読む。 3 読んで分かったことや解説文をもとに, 感想を伝え合う。 4 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・文体のリズムを味わったり, 比喩表現や象徴表現に気付いたりしている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において, 人物の心情や作品の全体像を捉えるために, 作品と対話しながら読んでいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで物語と対話しながら読み, 読み方を広げようとしている。
	言葉をつないで文を作ろう2 1時間(書①) 教科書:5下p.81 ◇4年生までに配当されている漢字を使った文を書き, 読み返して文を整えることができる。〈知技:(1)エ, B:(1)オ〉	1 教科書の絵を見て様子を想像し, 説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い, 課題に合った文を作る。 4 友達と読み合い, 記述の適切さや漢字が正しく使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・4年生までに学んだ漢字を正しく使って, 文を作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 作った文を読み返して文を整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い, 今までの学習を生かして, 文を作ろうとしている。
	言葉の文化を体験しよう 文語詩 やしの実 2時間(知技②) 教科書:5下pp.82～85 ◇時間の経過による言葉の変化に気付き, 言葉の響きやリズムに親しむとともに, 内容の大体をつかみ, 昔の人のものの見方や感じ方に対する関心を深めることができる。〈知技:(3)エ, イ, ウ〉	1 「やしの実」を音読し, 文語詩の五七調のリズムや響きを味わうとともに, 現代語との言葉の違いに関心をもつ。 2 各連をイメージし, 感じたことや考えたことをもとに絵で表し, 交流する。 3 解説文を読み, 「やしの実」の内容と関連させて作者のものの見方や感じ方を知る。	●知識・技能 ・文語詩や解説文を読み, 時間の経過による文字や言葉の変化に気付くとともに, 言葉の響きやリズムを味わっている。 ・詩の大体の内容をつかみ, 昔の人のものの見方や感じ方に関心をもっている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・文語の調子に親しみ, 言葉の響きやリズムをつかみながら, 進んで音読したり感想をもったりしようとしている。
	言葉のいずみ1 漢字の音読みと訓読み 2時間(知技②) 教科書:5下pp.86～89 ◇複数の音読みや訓読みがある漢字や, いろいろな意味や読み方がある漢字について, 理解することができる。〈知技:(1)エ, (3)ウ〉	1 p.86の解説を読み, 複数の音読みがある漢字があることを知り, 同じ漢字の複数の音読みを使った短文を作る。 2 p.87の解説を読み, 同じ音読みでも表す意味が複数あることを知り, 傍線のある漢字と同じ意味で使われている熟語がどれかを考える。 3 p.88の解説を読み, 複数の訓読みがある漢字があることを知り, 傍線部分を適切な表記にする。 4 p.89上段の解説を読み, 複数の読み方がある言葉について知る。 5 同訓異字について知り, 適切な言葉がどれかを考える。	●知識・技能 ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに, 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。 ・漢字の特質などについて理解している。 ・5年生に配当されている漢字を読み書きし, 文の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで漢字の音読みや訓読みについて理解し, これまでの学習を生かして, 適切に漢字を使うようとしている。

月	単元・教材名、時数、指導目標	主な学習活動	評価規準
	6 描写を手がかりに読もう 大造じいさんとがん 6時間(読⑥) 教科書:5下pp.90～107 ◇人物の行動や心情描写、情景描写に着目し、人物の心情とそ の変化を捉えることができる。 (知技:(1)オ、ク、C:(1)イ、 エ、オ、カ)	1 全文を読み、めあてを確かめる。 2 初発の感想を交流する。 3 場面ごとに、人物の行動と心情を確かめる。 4 人物の心情の変化と、そのきっかけとなる出来 事を捉える。 5 印象に残る描写を書き出し、その効果を考え る。 6 描写を手がかりに、書かれていない場面を想像 する。 7 読み取ったことをもとに、感想を伝え合う。 8 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・言葉のリズムや描写の効果に気付いている。 ・心情の変化と出来事を、原因と結果の関係で捉 えている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、描写に着目し、人物像や 人物同士の関係、心情の変化の要因を捉えてい る。 ・「読むこと」において、心情を情景描写との関係 から捉え、表現の効果を考えている。 ・「読むこと」において、読んで感じたことをまと め、伝え合うことで、自分の考えを広げている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで描写をもとに、人物の相互関係や心情の 変化を捉えようとしている。
3月 (12)	7 テーマを決めて討論しよう より良い考え方はどっち? 6時間(話聞⑥) 教科書:5下pp.108～115 ◇テーマに対して二つの立場に 分かれ、意見やその理由を明確 にしたり資料を活用したりしなが ら、計画的に討論をすることがで きる。(知技:(1)ア、オ、A:(1) ア、ウ、エ、オ、(2)ウ)	1 今までの話し合いで、上手いかなかったことな どを出し合う。 2 学習のめあてと課題を確かめ、見通しをもつ。 3 討論会の役割や形態、進め方を確かめる。 4 論題について、条件を考えながら話し合い、一 つ選ぶ。 5 立場や役割を決め、それぞれの役割で重要な 点を確認する。 6 立論の内容を考え、立論カードと資料を作成す る。 7 立論を発表し、討論会の準備をする。 ・賛成側と反対側は考えの根拠を整理する。 ・司会役は発言の順番や時間の計画を立てる。 8 役割を交代するなどしながら討論会を行う。 9 進め方の工夫や互いの意見の明確さなどに ついて話し合い、学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・相手と円滑な話し合いができる言葉の働きに気 付いている。 ・正しさや適切さなど、言葉の使い方に対する感 覚を意識して話している。 ●思考・判断・表現 ・「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整 理して立論の内容を検討し、自分の考えが明確 になるよう、資料を活用するなどして表現の仕方 を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、異なる立場の意 見やその理由を聞き、話し手の考えと比べなが ら、自分の考えを広げている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・テーマに対する自分の立場を明確にして、進ん で話し合おうとしている。
	言葉のいずみ2 日本語の文字の歴史 1時間(知技①) 教科書:5下pp.116～117 ◇仮名の由来や特質などにつ いて理解することができる。(知技: (3)ウ)	1 p.116の解説を読み、漢字を利用した日本語の 書き表し方について知る。 2 p.117上段の解説を読み、平仮名や片仮名が 生まれた過程を知る。 3 p.117下段の解説を読み、漢字仮名交じり文に ついて知り、その良さを考える。	●知識・技能 ・仮名の由来、特質などについて理解している。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで日本語の文字の歴史について知り、これ までの経験を生かして、日本語の特質を理解し ようとしている。
	漢字の広場2 1時間(知技①) 教科書:5下p.118 ◇5年生に担当されている漢字 を読み書きし、文中の使い方を 理解することができる。(知技: (1)エ)	1 傍線の言葉に注意して、教科書の例文を読 む。 2 新出漢字の意味を確かめ、書く練習をする。 3 漢字や文の間違いを正す。	●知識・技能 ・5年生に担当されている漢字を読み書きし、文 の中で使っている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで5年生に担当されている漢字を読み、今 までの学習を生かして、文の中で使おうとしてい る。
	言葉をつないで文を作ろう3 1時間(書①) 教科書:5下p.119 ◇4年生までに担当されている 漢字を使った文を書き、読み返 して文を整えることができる。(知 技:(1)エ、B:(1)オ)	1 教科書の絵を見て様子を想像し、説明し合う。 2 提示された漢字の読み方と書き方を確かめる。 3 提示された漢字を使い、課題に合った文を作 る。 4 友達と読み合い、記述の適切さや漢字が正しく 使われているかを確かめ合う。	●知識・技能 ・4年生までに学んだ漢字を正しく使って、文を 作っている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において、作った文を読み返して文を 整えている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・進んで提示された漢字を使い、今までの学習を 生かして、文を作ろうとしている。
	これからのあなたへ 小さな質問 1時間(読①) 教科書:5下pp.120～121 ◇描写をもとに作品の全体像を 捉え、作者の思いを想像して感 想をもつことで、自分の考えを広 げることができる。(知技:(1) ク、C:(1)カ、(2)イ)	1 「小さな質問」の作品世界を想像し、感想や表 現の工夫について出し合う。 2 神様とトボのやりとりから、感じたことをふま えて音読する。 3 詩から受け取ったメッセージについて、感想を 伝え合う。 4 学習の振り返りをする。	●知識・技能 ・短い言葉による改行や、質問と答えの二字下げ などの表現の工夫に気付いている。 ●思考・判断・表現 ・「読むこと」において、作品世界の全体像を想像 しながら読み、感想を伝え合うことで、自分の考 えを広げている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・作品のメッセージを想像し、自分の生きる意味 を自問することで、進んで今後の人生に意識をも とうとしている。

月	単元・教材名, 時数, 指導目標	主な学習活動	評価規準
	五年生をふり返って 2時間(書②) 教科書:5下pp.122～124 ◇一年間の国語学習を振り返り, 新たに気付いたことやこれから取り組みたいことを考えて書くことができる。〈知技:(1)ク, ウ, B:(1)エ〉	1 一年間の国語学習を振り返り, 学んだことやこれから頑張っていきたいことを友達と話し合う。 2 新たに気付いたことやこれから取り組みたいと思うことをメモに書き出し, 簡単な構成を考える。 3 一年間を振り返る文章を書く。 4 友達と読み合い, 感想を伝え合う。 5 学習を振り返り, これからの学習について話し合う。	●知識・技能 ・話し言葉と書き言葉の違いに気付き, 使い分けしている。 ・漢字と仮名を適切に使い分け, 正しい表記で書いている。 ●思考・判断・表現 ・「書くこと」において, 一年間の国語学習を振り返り, 新たに気付いたことやこれから取り組みたいことから書くことを選び, 伝えたいことを明確にしている。 ●主体的に学習に取り組む態度 ・一年間で学んだことを, 進んで文章にまとめようとしている。